

田畑委員の海外出張報告について

1. 出張先

イギリス（ロンドン）、オーストリア（ウィーン）、フランス（パリ）

2. 日程

平成9年9月25日（木） 成田発

ロンドン着

9月26日（金） ラザフォード・アップルトン研究所での会談、視察

9月28日（日） ロンドン発

ウィーン着

IAEA総会参加登録

9月29日（月） IAEA総会出席

9月30日（火） IAEA総会及び科学プログラム出席

10月1日（水） ウィーン発

パリ着

10月2日（木） CEA最高顧問Dautrayとの会談及び

IPSN防災対策センターでの会談、視察

10月3日（金） サクレ研究所での会談、視察

パリ発

10月4日（土） 成田着

3. 概要

イギリスのラザフォード・アップルトン研究所(RAL)を訪れ、研究会議中央研究所会議(CCLRC)議長のWilliams他とRALの交流及び技術移転の状況等について意見交換を行い、理研がRALと共同研究を行っている加速器ISISの視察を行った。

第41回IAEA総会及びその科学プログラムに参加した。総会では16年間続けてきたブリス事務局長の後任としてエバラダイが就くことが了承された。各国代表演説で、日本は加藤政務次官がパナマに続き2番目に演説を行った。

CEA本部を訪れ、Dautray最高顧問と日仏の原子力の現状と将来展望について意見交換を行い、両国に共通点が多いこと及び相互に積極的に協力していくことが重要であることを確認した。IPSNの防災対策センターを訪れLivorant所長他と防災体制等について意見交換を行った。CEAのサクレ研究所を訪れ、主に技術移転についての意見交換を行い、照射炉OSIRISと加速器SATURNの視察を行った。

以 上